

1月のびびり

幸先良くスタート

1月6、7日とホクレン南北海道家畜市場で肉牛の初競りが行われました。東胆振や日高管内から集まった肉牛は約1700頭。道内外から買い付け人が訪れ、肉牛を競り落としていきました。

最高取引額は、黒毛和種の雄（去勢）で1053千円。町内の生産者も多く、牛を出品し、昨年の取引平均価格を大きく上回る幸先の良い結果となりました。



気持ち新たに安全願う

1月10日、町交通安全協会主催の交通安全祈願祭が早来神社で行われ、関係者34名が出席。

同協会佐藤進会長、町交通安全推進委員瀧孝会長が代表挨拶を行い、交通安全への意識を高めました。

昨年町内では、痛ましい死亡交通事故が2件発生。事故のない安平町を目指すためにも、皆さんのご協力をよろしくお願いします。



1年振りの氷の感触

1月19日、冬季スポーツの振興を目的に町スケート協会が主催する放課後スケート教室が町民スケートリンクで開催されました。

集まった約50名の小学生は、それぞれのレベルに合わせてグループごとに練習、技術の向上を図りました。

現在改修工事中のアイスアリーナは3月にオープンする予定。屋内でのスケートを楽しむ子どもたちの姿が多く見られそうですね。



待ちに待ったゲレンデ

1月18日、安平山スキー場がオープン。21日は、スキー授業を行う追分小学校の3、4年生の姿がゲレンデにありました。

授業は、複数のグループに分かれて進行。各グループとも、少しでも上達しようと練習を重ねていました。

この日が、今年初めてのスキー授業だったようで「気持ち良く滑られて良かった」とスキーを楽しむ声を児童から聞くことができました。



みんなでべったん

1月22日、はやきた子ども園で予定からひと月遅れのもちつき会が行われました。

食育の一環にと、じゃんぶ組の園児が発泡スチロールで育てたもち米など全部で6キログラムをつき上げ、でき上がったお餅は、すぐさま園児たちのお腹におさまり、みんな、口々に「おいしい」と満面の笑顔。

あつという間のできごとでした。来年もまた、餅つきやりたいね。

